

中井町町民アンケート調査 報 告 書

(一部抜粋)

調査期間：令和元年8月5日～8月26日

調査対象：中井町在住の18歳以上の男女1,400人

(住民基本台帳による無作為抽出)

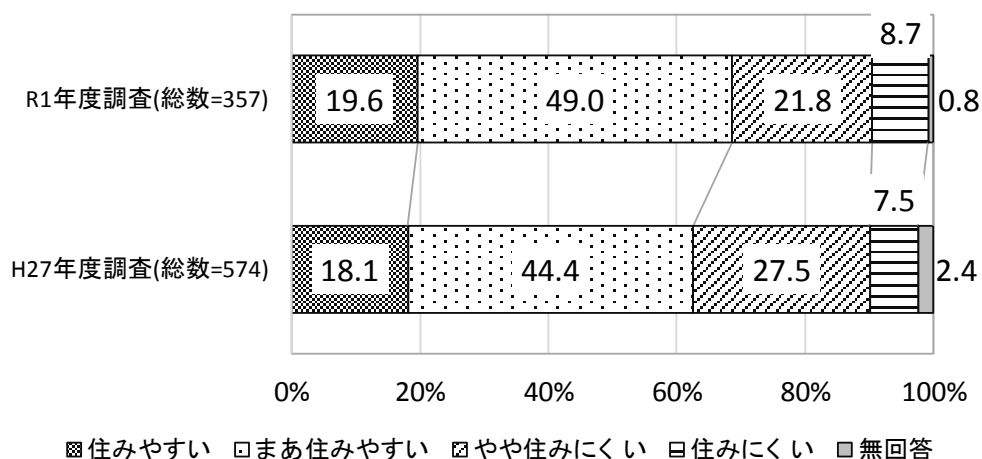
調査方法：郵送配布・郵送回収

回収数：357 (回収率 25.5%)

令和2年3月

中井町 企画課

(1) 住みやすさ



住みやすさについては、「住みやすい」(19.6%)、「まあ住みやすい」(49.0%)を合わせた『住みやすい(計)』(68.6%)は7割弱を占め、前回調査の62.5%を6.1ポイント上回っています。

【性別】

男女で傾向に大きな違いはありませんが、『住みやすい(計)』は男性で69.9%と女性の66.3%より3.6ポイント上回っています。一方、『住みにくい(計)』の比率は女性で33.8%と全体(30.5%)に比べて高くなっています。

【年齢別】

『住みやすい(計)』は30歳代で56.9%と6割未満となっており、その他の年代と比べて低くなっています。一方、20歳代、50歳代～70歳代以上では7割を超えて高くなっています。

【居住地区別】

『住みやすい(計)』は中村上地区、井ノ口上地区、井ノ口中地区、井ノ口下地区で7割を超えて高くなっています。一方、『住みにくい(計)』は、中村下地区(44.7%)が全体(30.5%)に比べて10ポイント以上高くなっています。

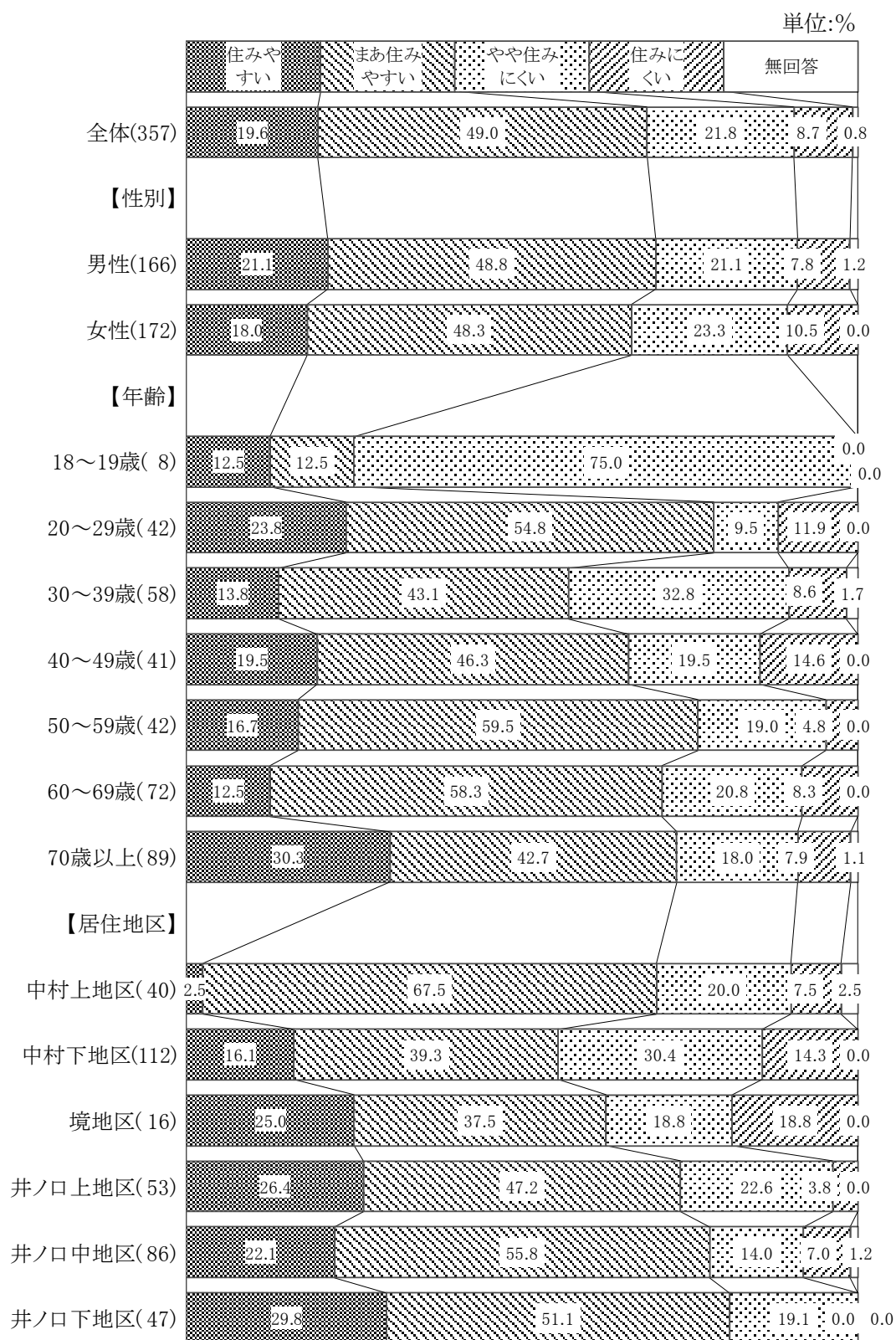
【家族構成別】

『住みやすい(計)』については、3世代家族が8割弱と高く、ひとり暮らし、2世代家族で全体(68.6%)と比べて低くなっています。

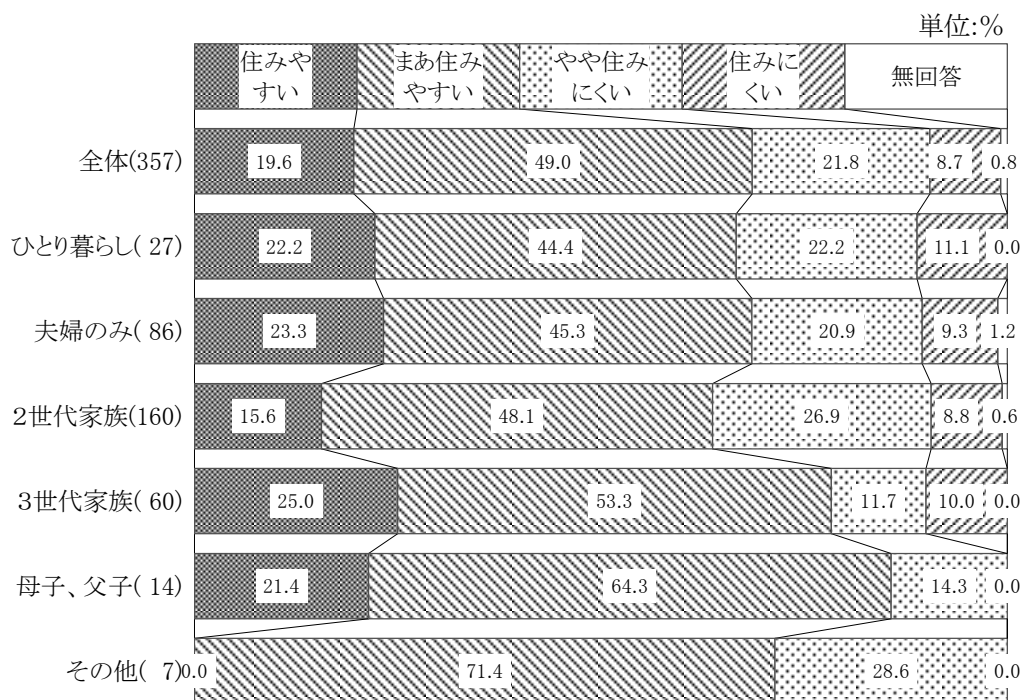
【居住年数別】

『住みやすい(計)』については、30年以上、5～10年未満が全体(68.6%)と比べて高く、5年未満、10～20年未満、20～30年未満で6割程度で全体(68.6%)と比べて低くなっています。

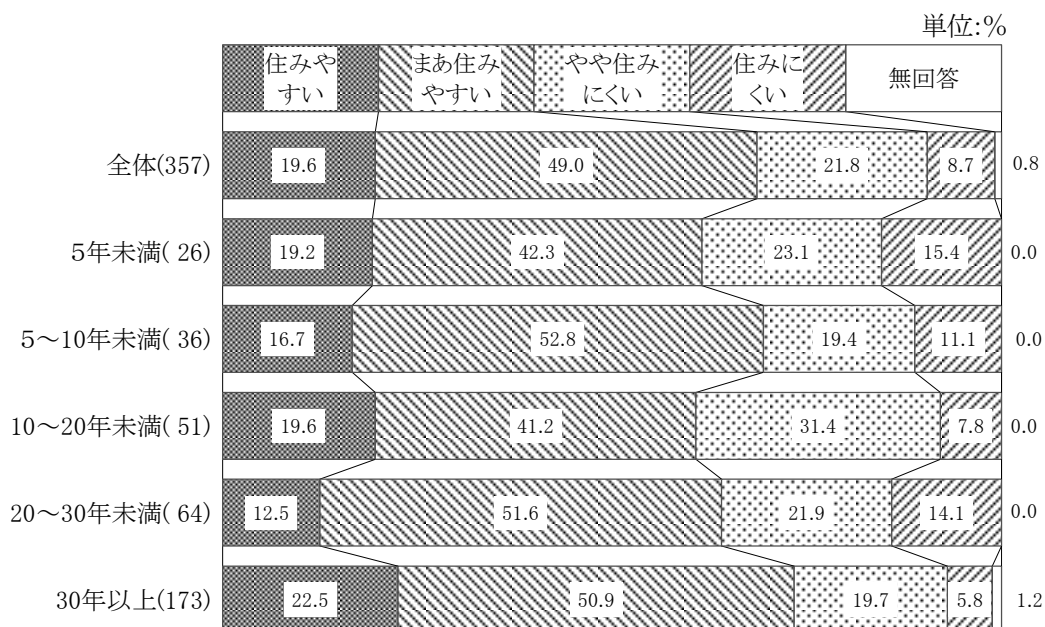
■属性別（性・年齢・居住地区）



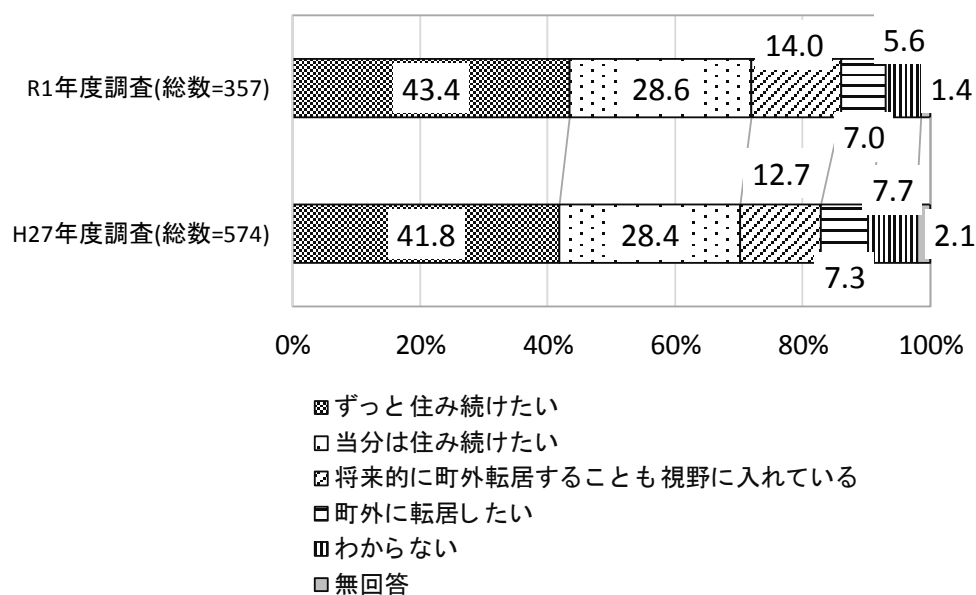
■家族構成別



■居住年数別



(2) 定住意向



定住意向については、「ずっと住みたい」（43.4%）、「当分は住みたい」（28.6%）を合わせた『住みたい（計）』（72.0%）は、前回調査の70.2%を1.8ポイント上回っています。

【性別】

男女で傾向に大きな違いはありませんが、『住みたい（計）』は男性で73.5%と女性の69.8%より3.7ポイント上回っています。

【年齢別】

年代が上がるにつれて『住みたい（計）』が高くなる傾向にあります。60歳代では『住みたい（計）』は8割を超えています。一方、20歳代以下では『転居したい（計）』が4割を超え、全体（21.0%）に比べて高くなっています。

【居住地区別】

『住みたい（計）』については、井ノ口上地区、井ノ口下地区が8割を超え高くなっています。一方、『転居したい（計）』については、境地区が4割弱と全体（21.0%）と比べて10ポイント以上高くなっています。

【家族構成別】

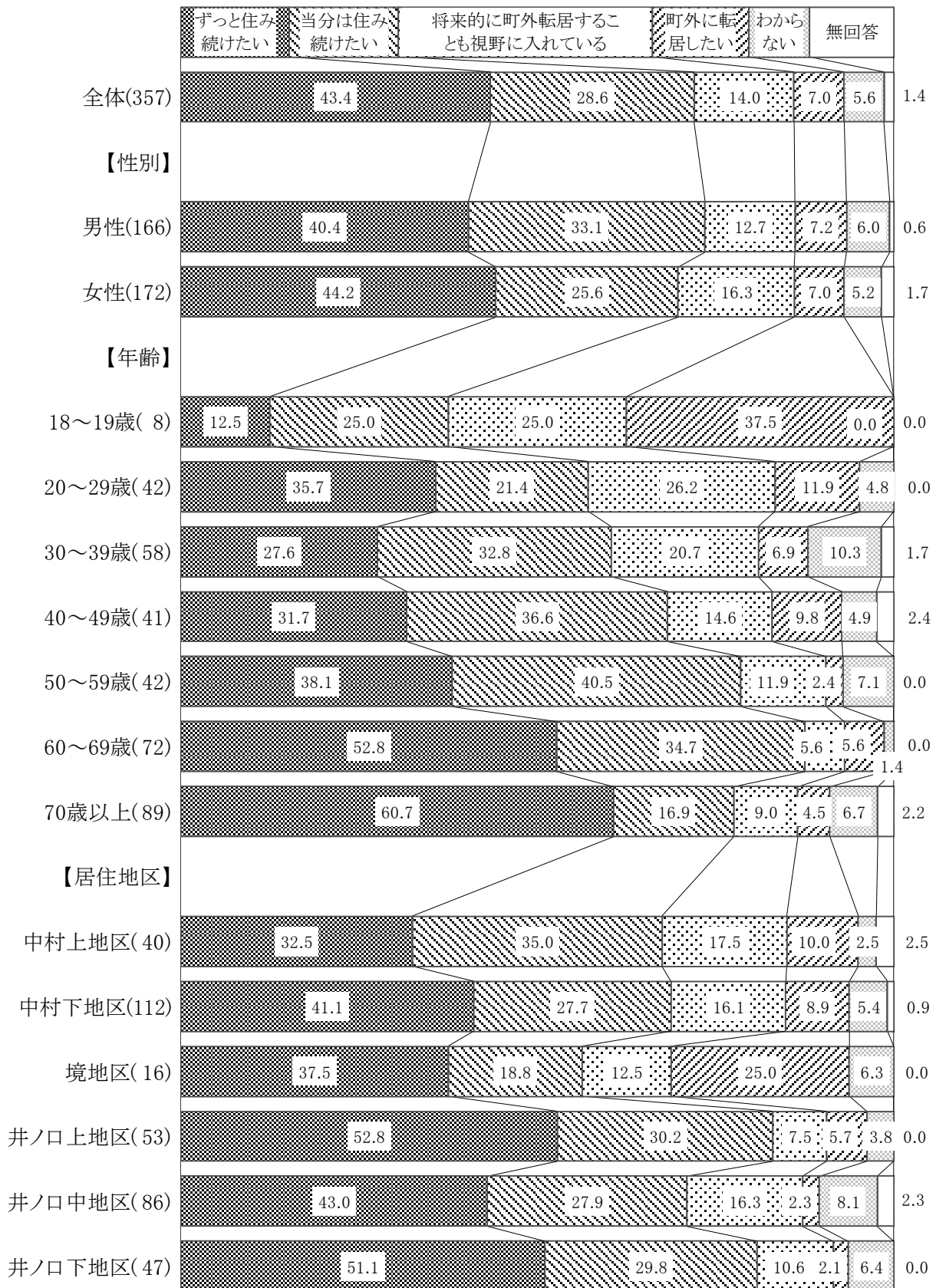
『住みたい（計）』については、夫婦のみ、3世代家族の比率が8割を超えて高く、2世代家族では6割強と全体（72.0%）に比べて10ポイント以上低くなっています。

【居住年数別】

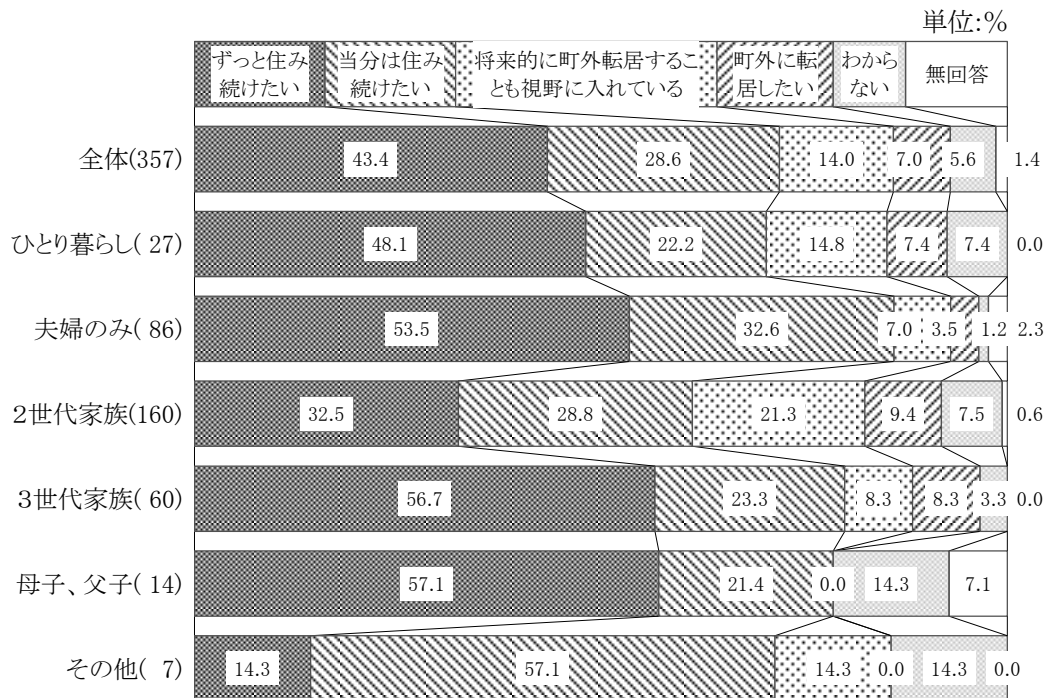
『住みたい（計）』については、30年以上を除き、居住年数が短くなるほど高くなり、5年未満では8割を超えています。

■属性別（性・年齢・居住地区）

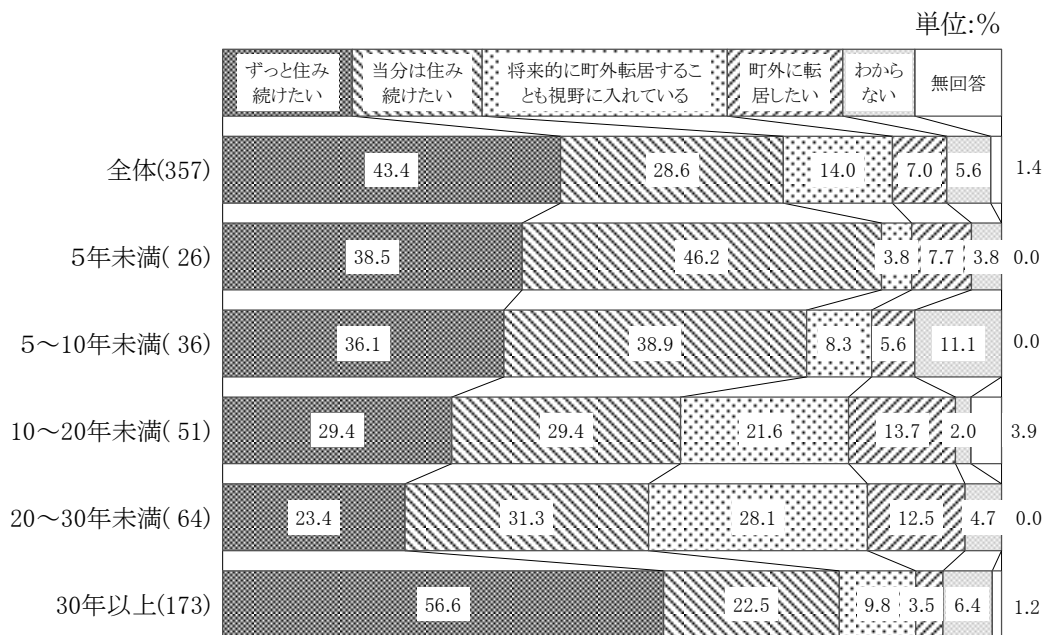
単位: %



■家族構成別



■居住年数別



(3) 施策の満足度と重要度（CSグラフ）

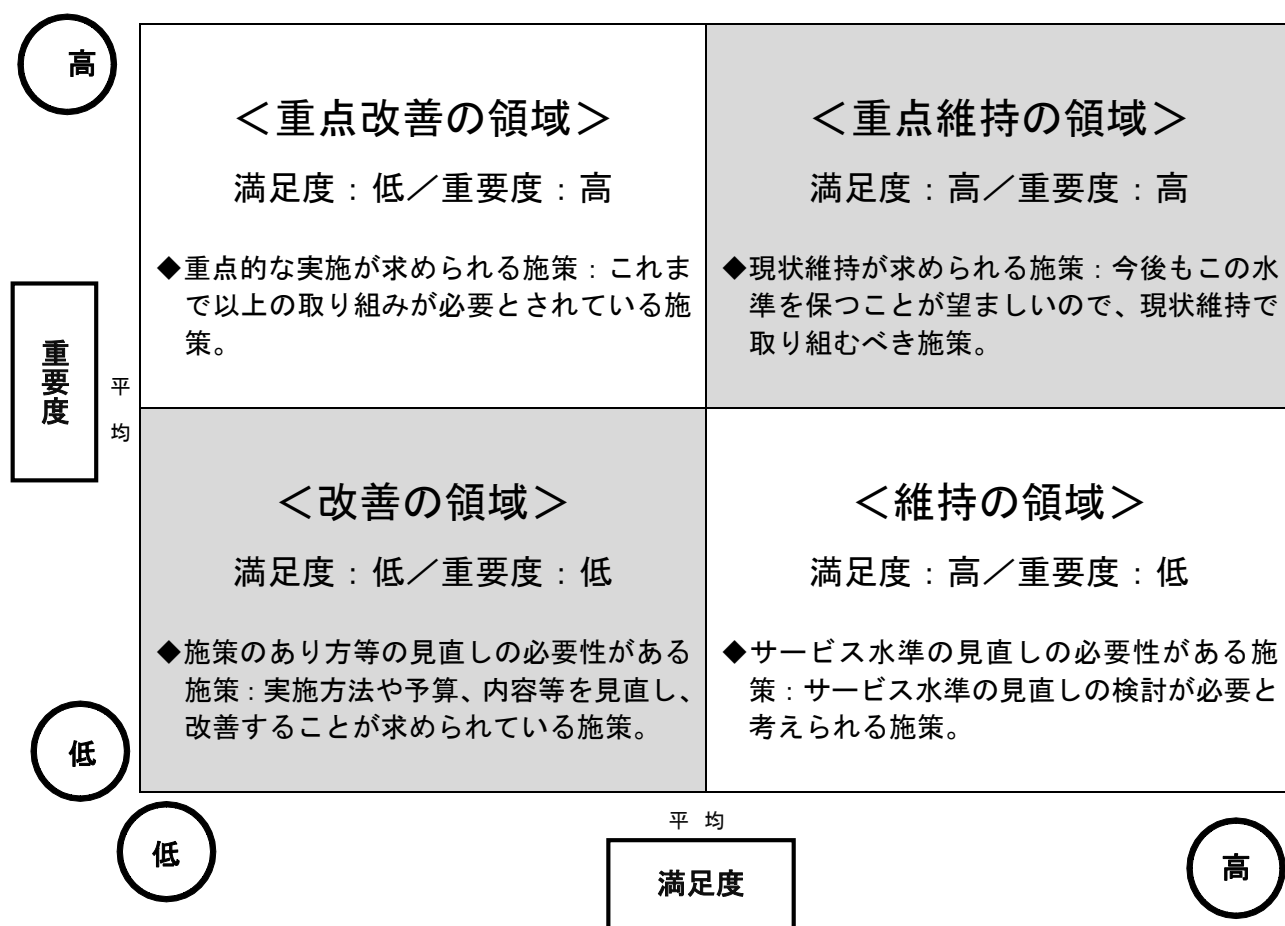
町で実施している主要施策 20 施策について、満足度・重要度の評価をもとに、次の計算方法により 4 つの領域に整理しました。

満足度と重要度の評価点の計算から、満足度・重要度の平均点を算出し、項目ごとの相対的な位置づけをより明らかにするために、CS グラフを作成することで、平均点との差を明らかにします。

グラフは、平均点（満足度、重要度）の位置 (0.02、1.15) を原点としてグラフ化しています。

＜グラフの見方＞

CS グラフとは、縦軸に重要度、横軸に満足度を取り、各項目の点数を座標で示したものです。満足度・重要度の平均を軸とし、各項目の方向性を 4 つの領域で示しています。



満足度、重要度の平均を軸として、各項目の方向性を 4 つの領域で示しています。

例)

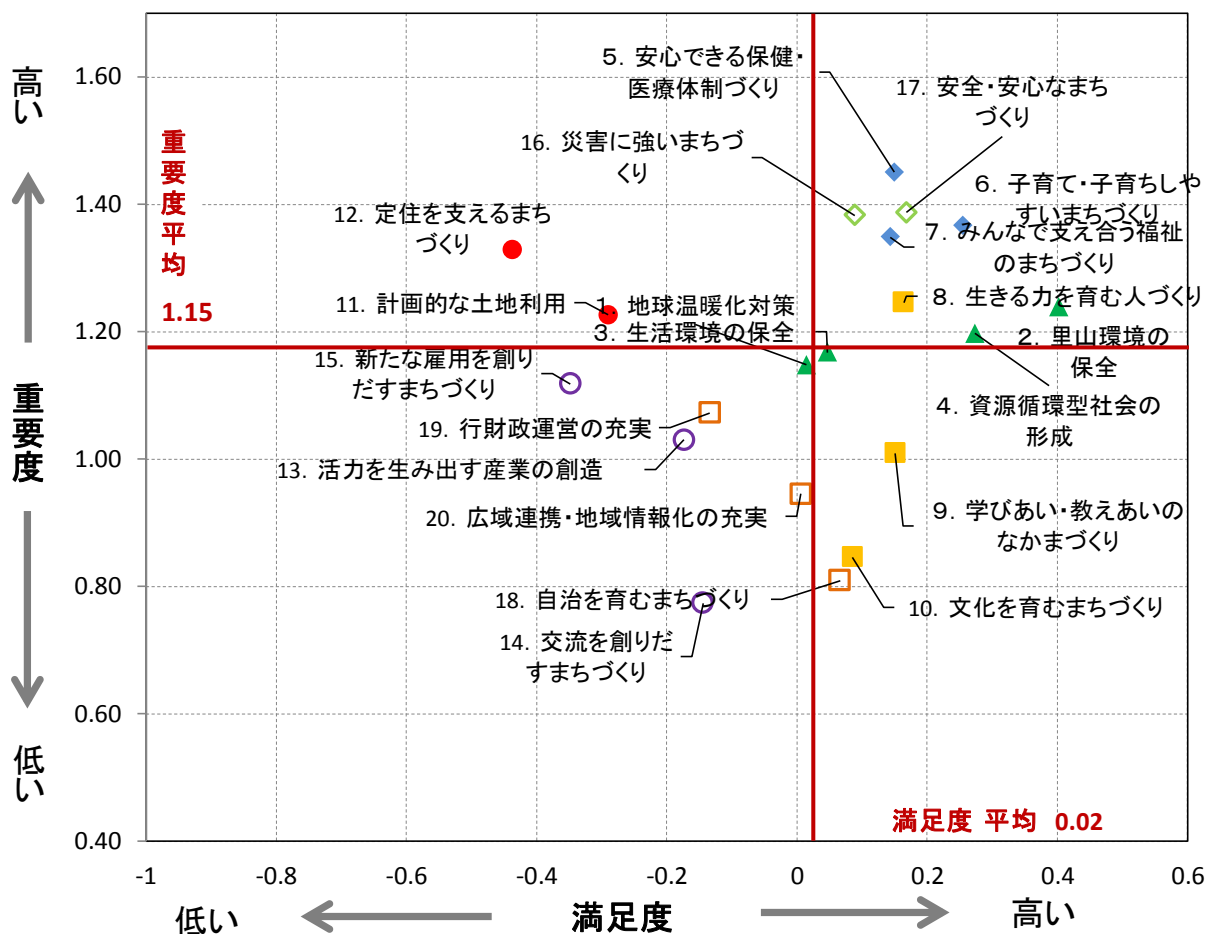
- ・満足度が平均より低い（左）
- ・重要度が平均より高い（上）

↓

『重点改善の領域』（左上）

①現状の施策の満足度と重要度

現状の施策の満足度と重要度（全町）



	分野別施策
▲	1. 自然・環境
◆	2. 健康・福祉
■	3. 教育・学習
●	4. 都市・住宅
○	5. 産業・観光
◇	6. 防災・防犯
□	7. 自治・連携

重点改善の領域に該当する施策が2、改善分野では6、重点維持では施策が8、維持分野では施策が4となっています。

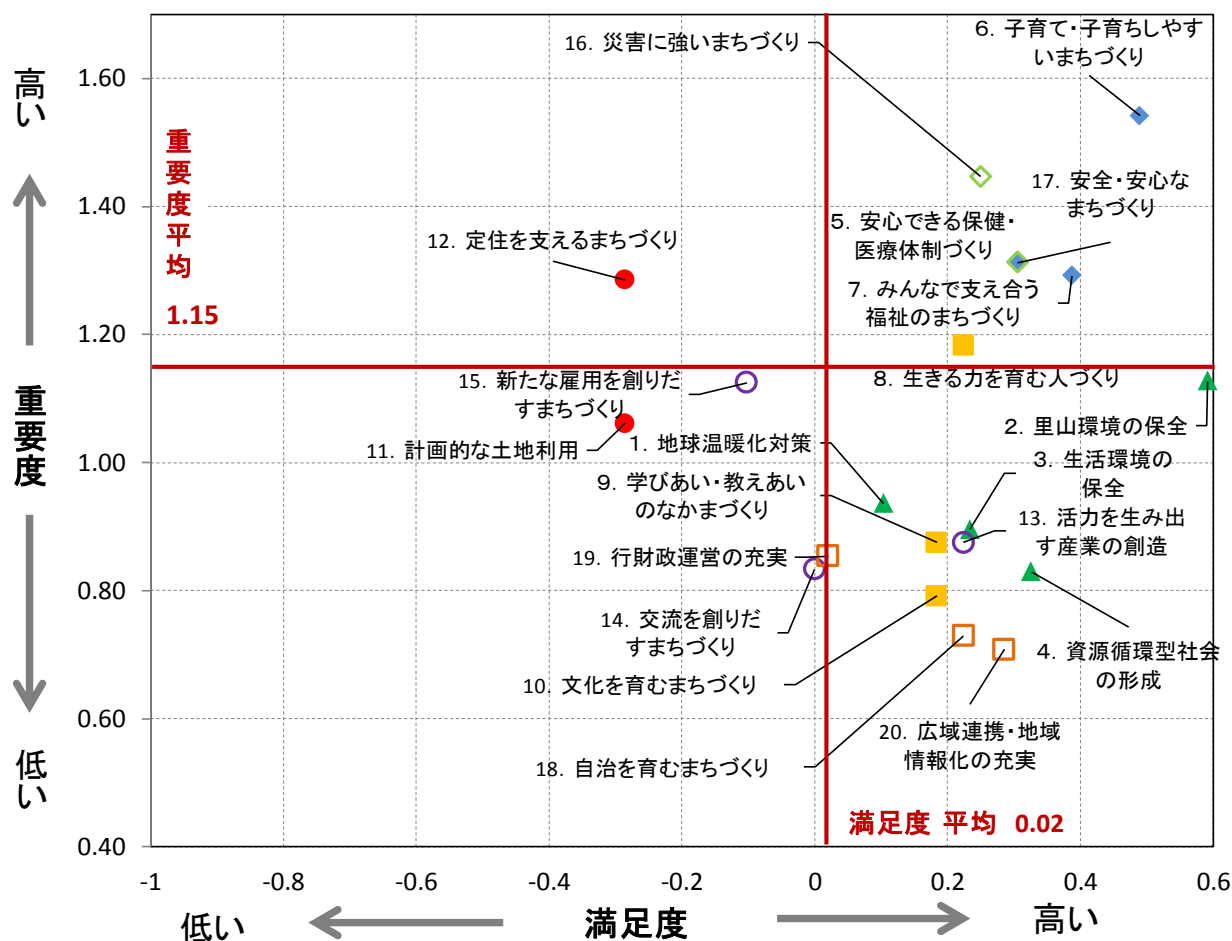
分野別施策でみると、重点改善の領域については「都市・住宅」の2つの施策がすべて分類されています。特に「定住を支えるまちづくり」は重要度が高いにもかかわらず満足度が低くなっています。

重点維持の領域については「健康・福祉」と「防災・防犯」のすべての施策が分類されています。その他、「自然・環境」の分野で3つの施策が分類されています。

②年齢別の現状の施策の満足度と重要度

【20 歳代以下】

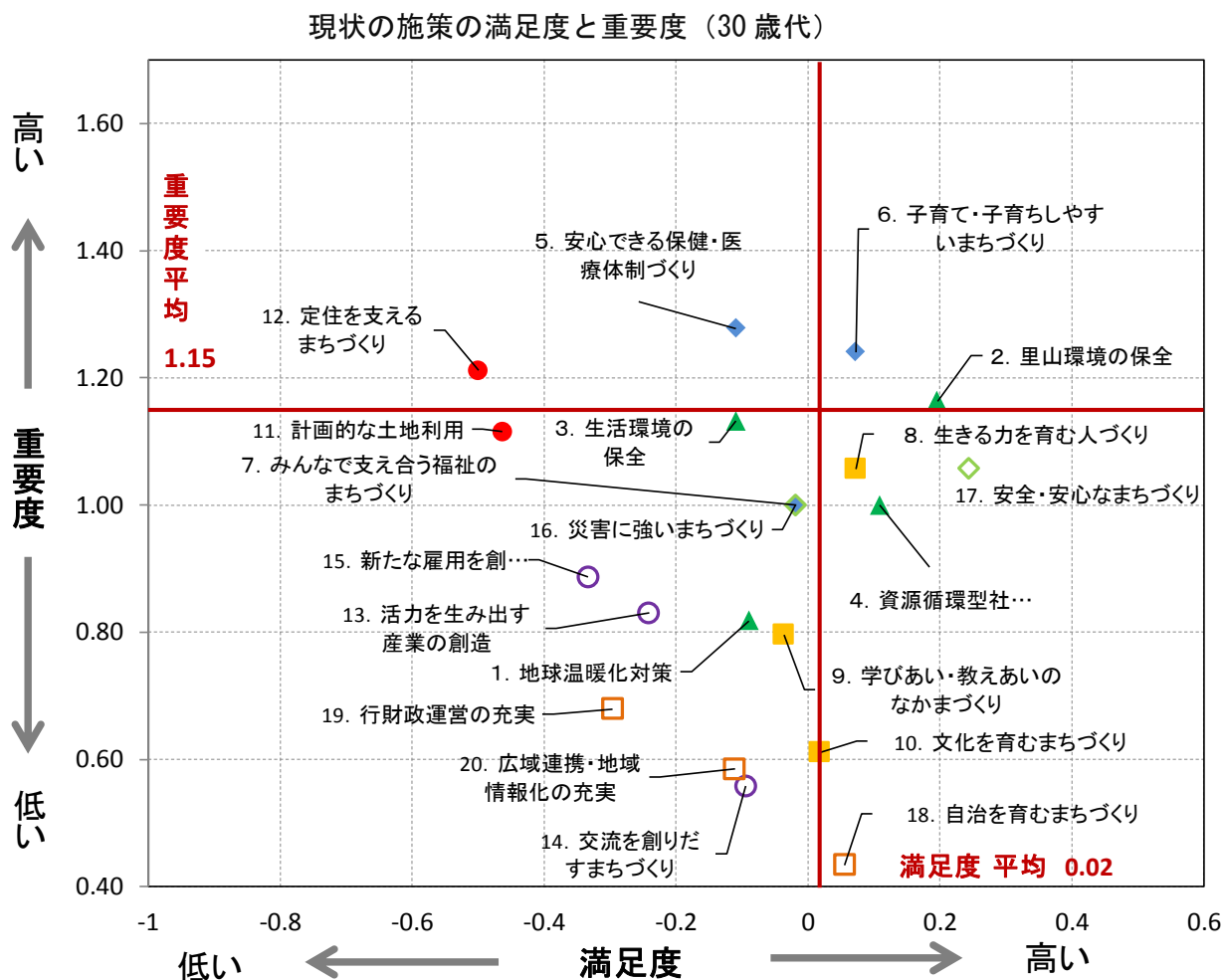
現状の施策の満足度と重要度（20 歳代）



20 歳以下では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”が低く、“満足度”が高い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」があげられています。

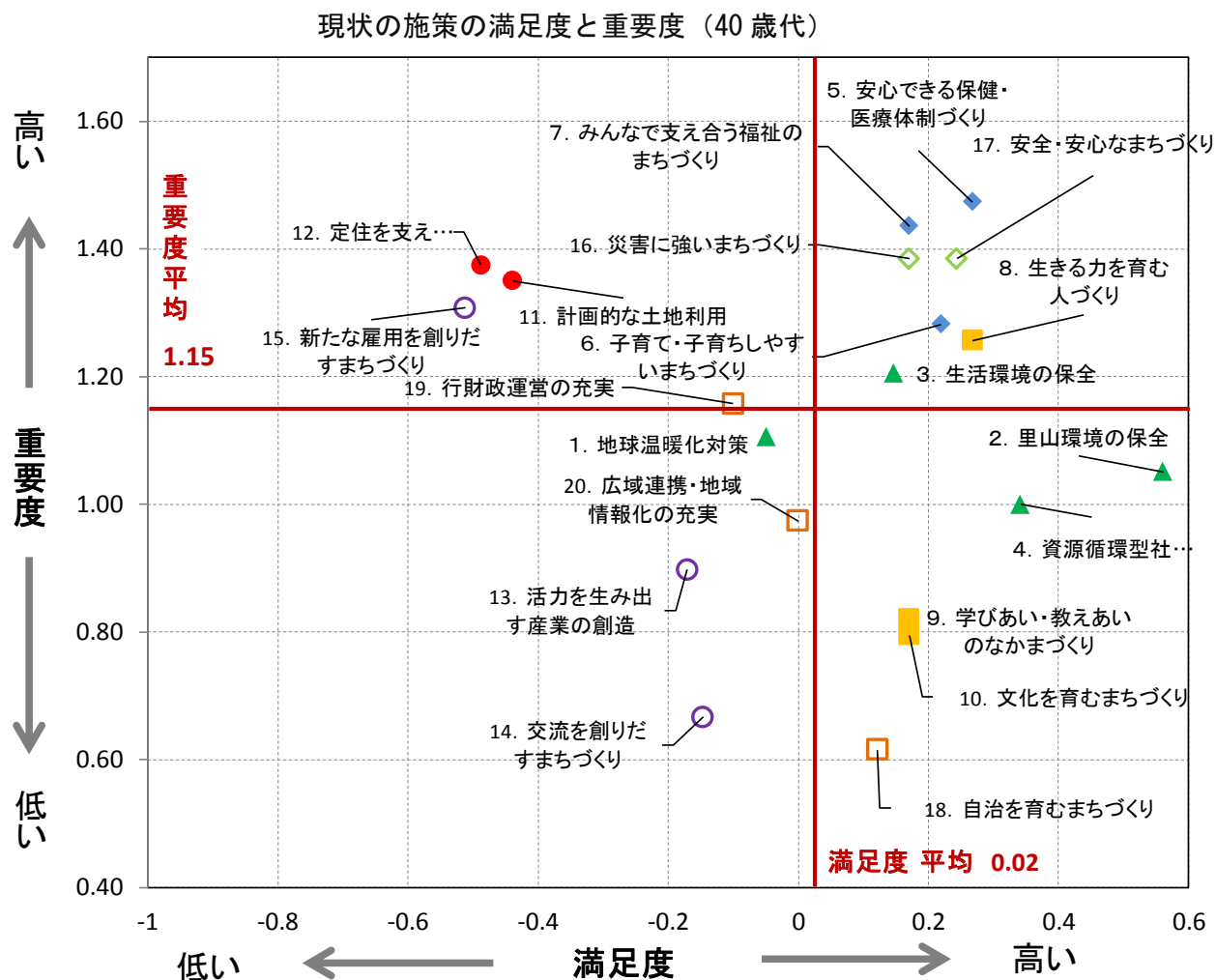
※「20 歳未満」は回答者数が少ないため、「20 歳代」と合わせてグラフ化しています。

【30 歳代】



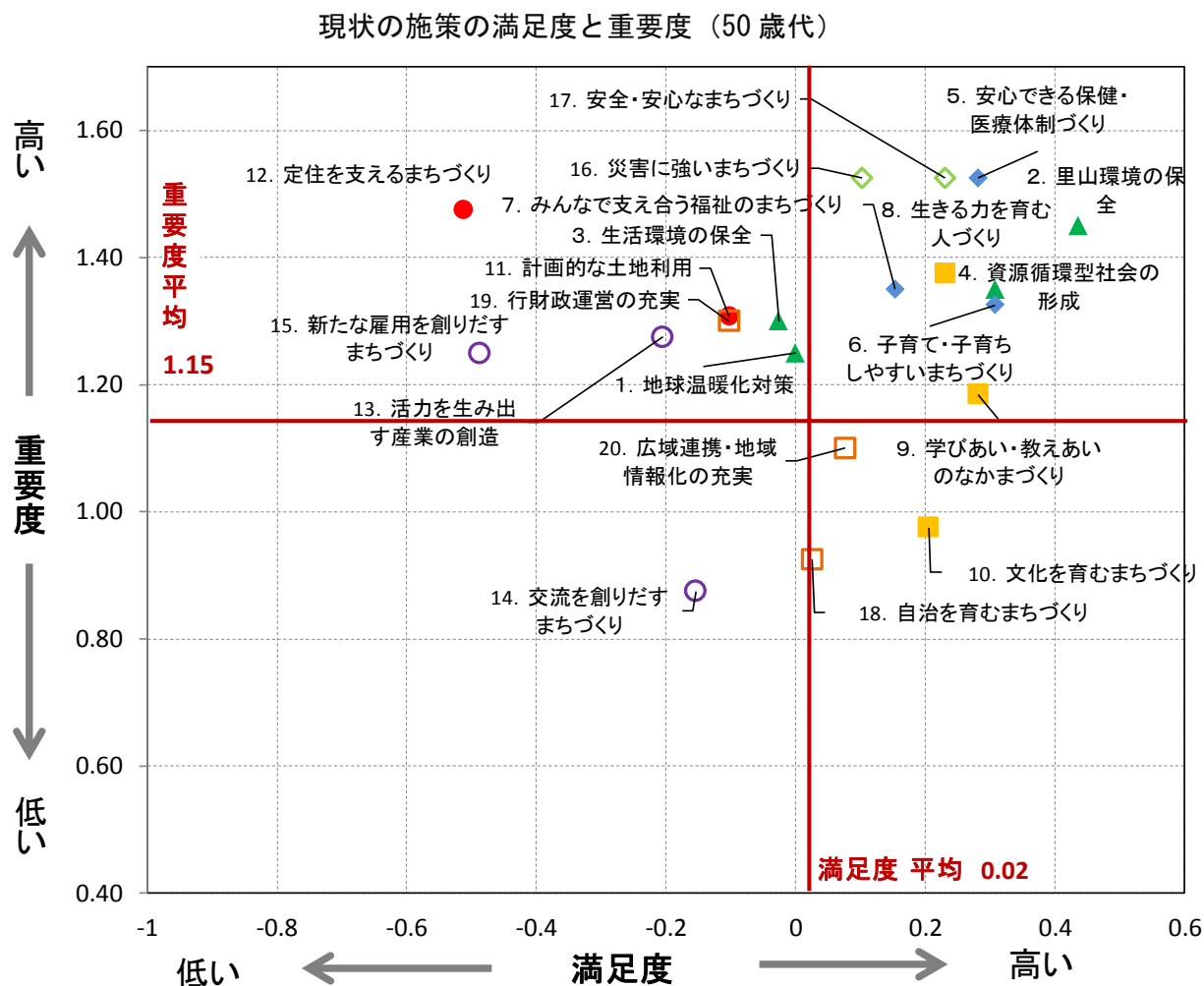
30 歳代では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”と“満足度”がともに低い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」と「安心できる保健・医療体制づくり」があげられています。

【40 歳代】



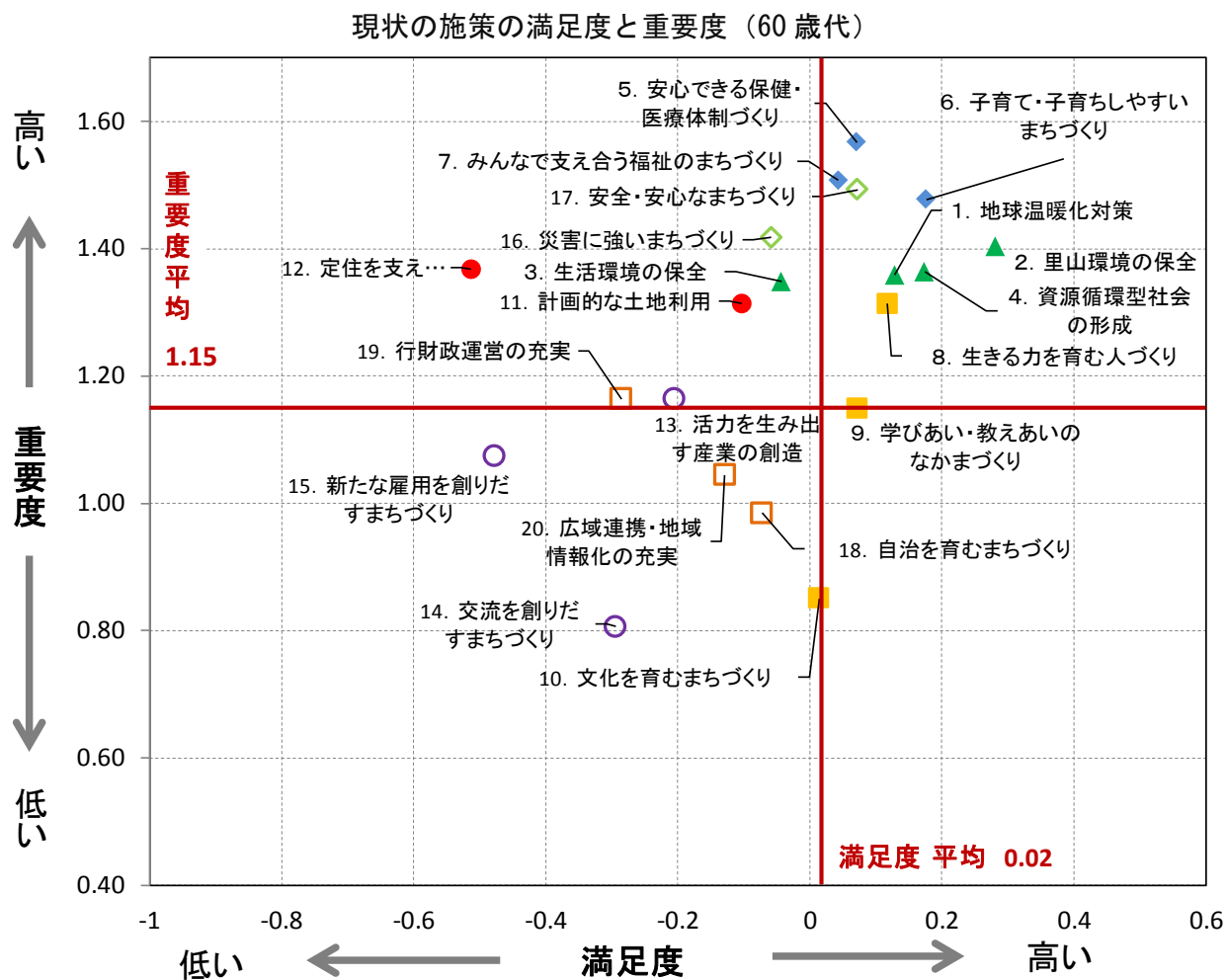
40 歳代では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”が低く、“満足度”高い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」と「計画的な土地利用」の都市・住宅の施策のほか、「新たな雇用を創りだすまちづくり」などがあげられています。

【50 歳代】



50 歳代では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”が高く、“満足度”が低い施策が多くなっています。「定住を支えるまちづくり」や「計画的な土地利用」の都市・住宅の施策のほか、「新たな雇用を創りだすまちづくり」や「活力を生み出す産業の創造」といった産業・観光の分野の施策や「行財政運営の充実」などがあげられています。

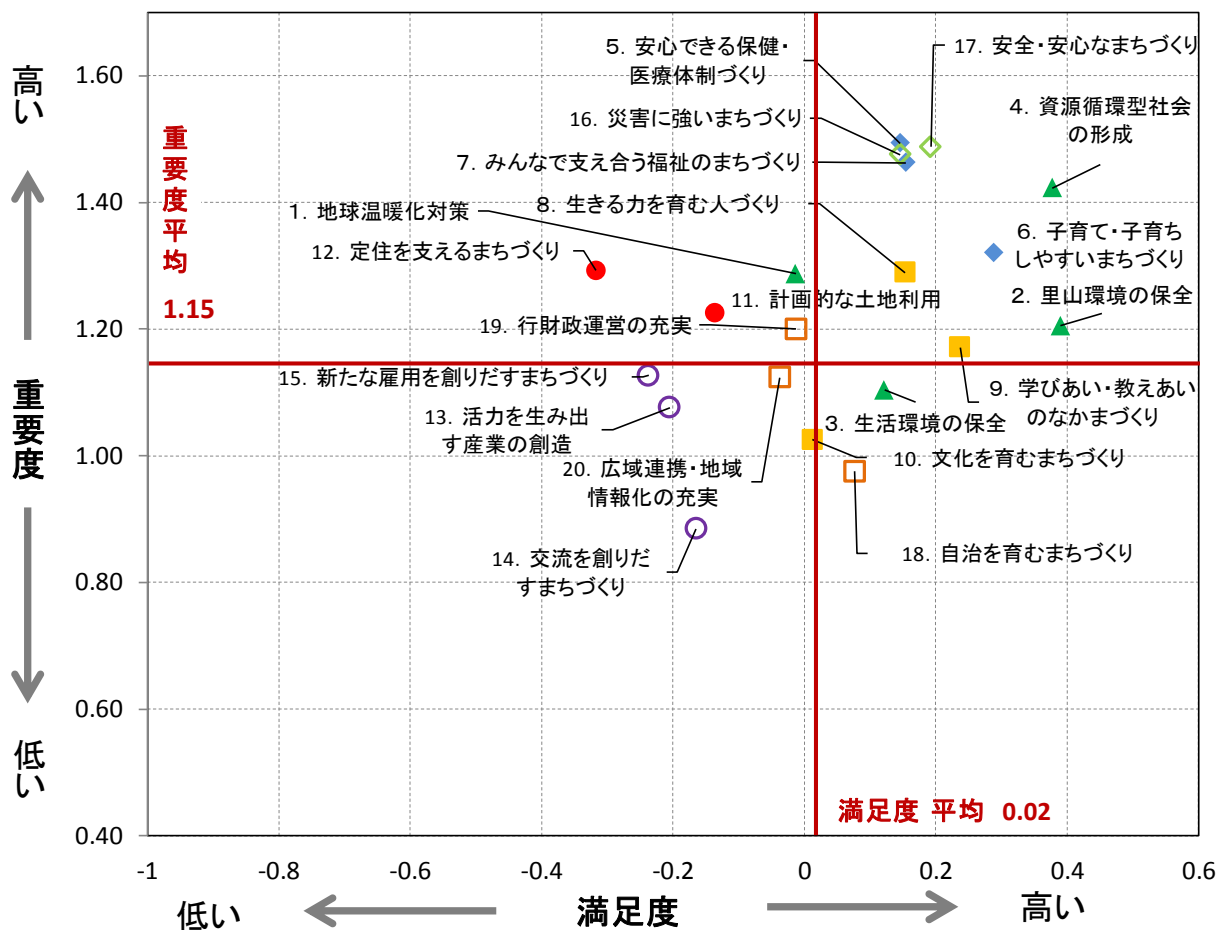
【60 歳代】



60 歳代では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”が高く、“満足度”が低い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」や「計画的な土地利用」の都市・住宅の施策のほか、「災害に強いまちづくり」などがあげられています。

【70 歳以上】

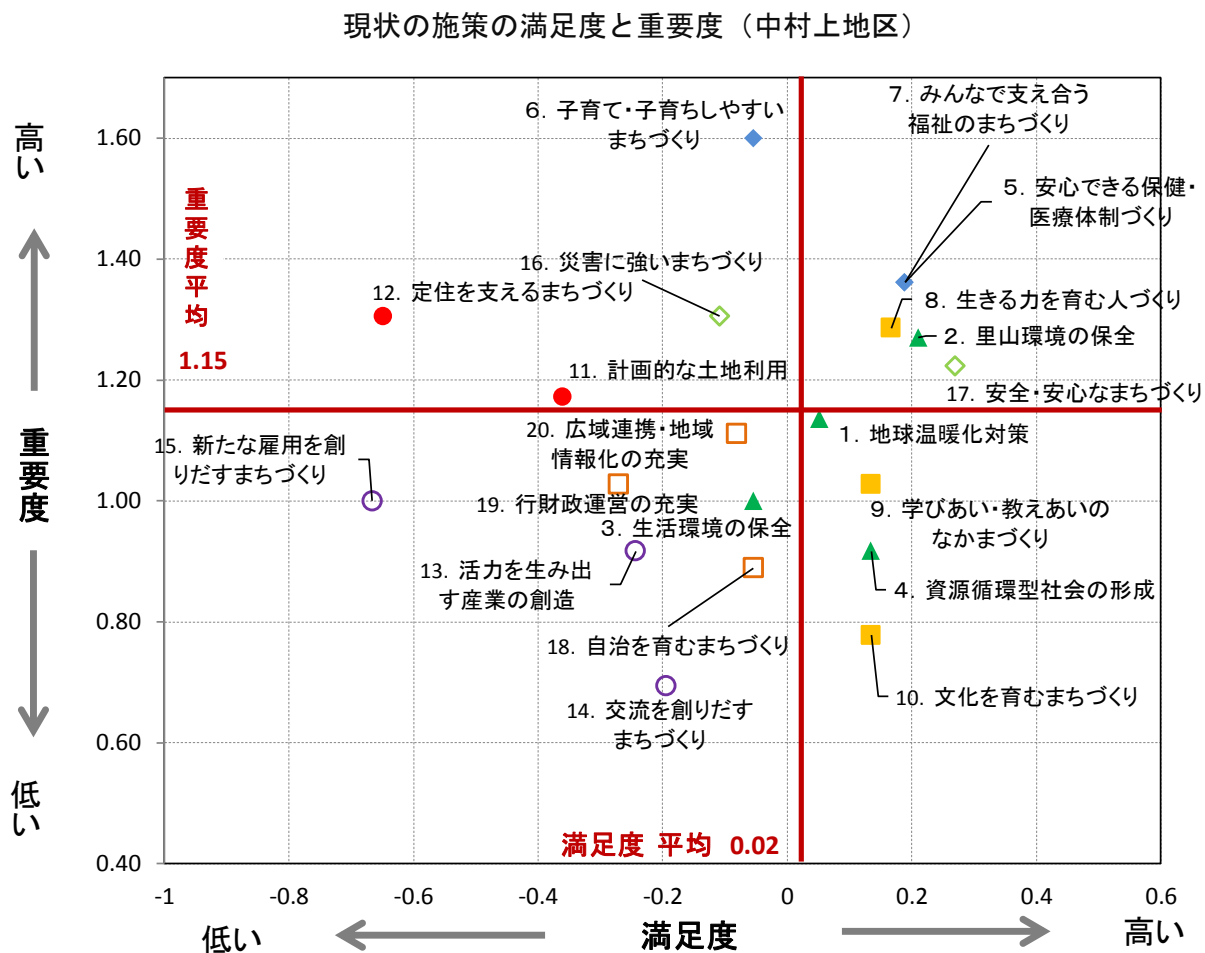
現状の施策の満足度と重要度（70 歳以上）



70 歳代では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向と近いかたちになっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」や「計画的な土地利用」の都市・住宅の施策のほか、「行財政運営の充実」などがあげられています。

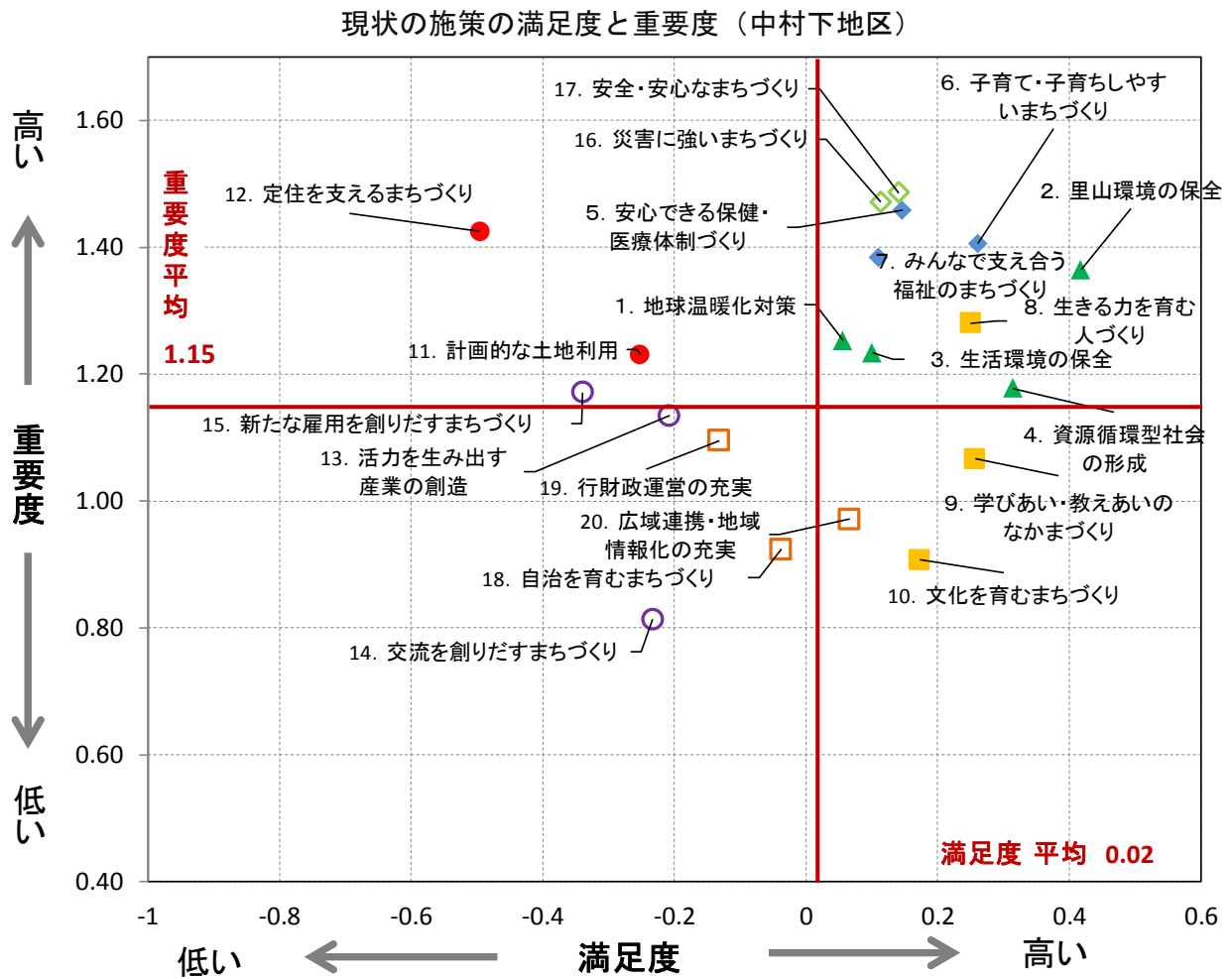
③地区別の現状の施策の満足度と重要度

【中村上地区】



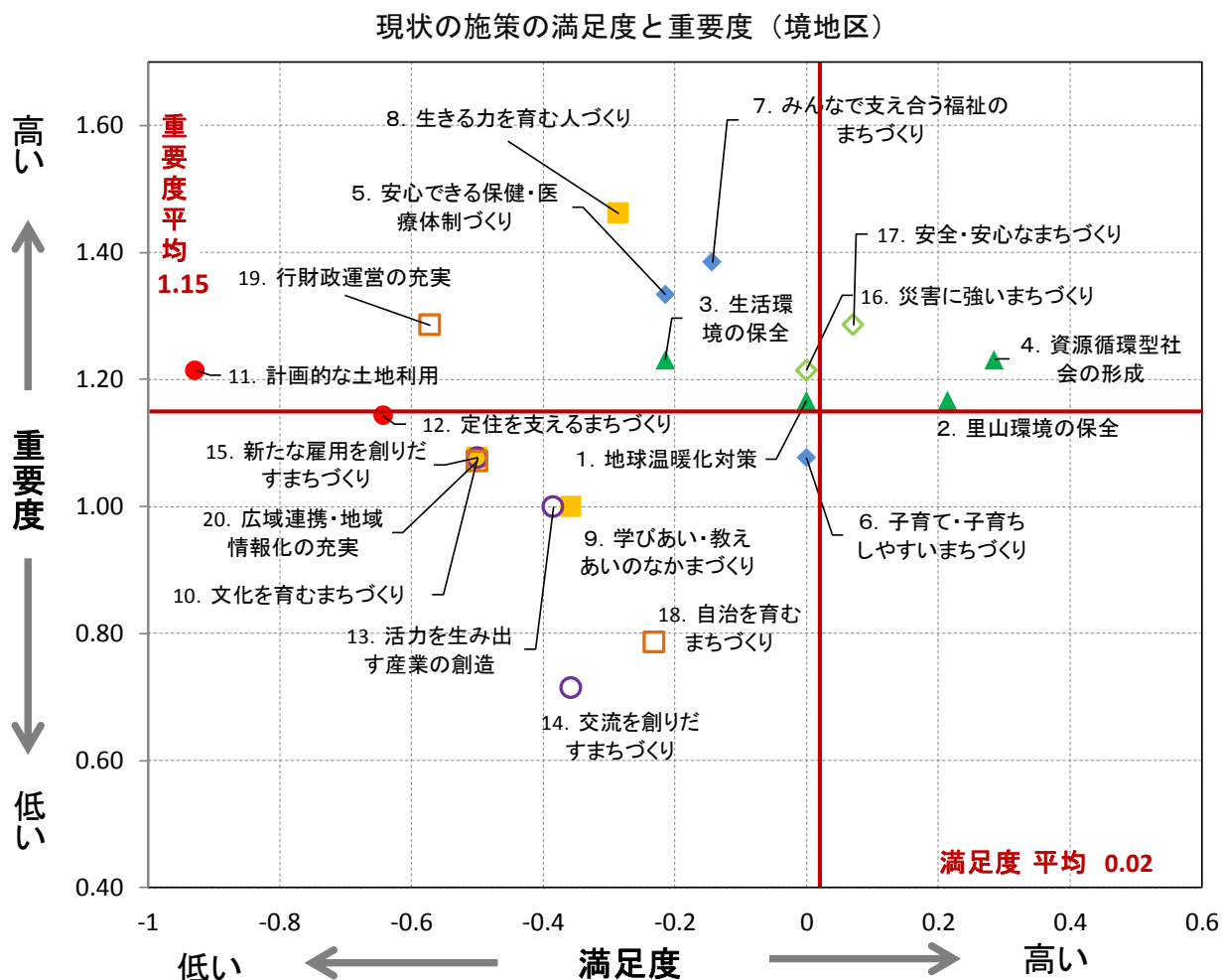
中村上地区では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”と“満足度”がともに高い施策が少ない一方で、“重要度”と“満足度”が低い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」や「災害に強いまちづくり」、「子育て・子育てしやすいまちづくり」などがあげられています。

【中村下地区】



中村下地区では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”が高い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」や「計画的な土地利用」の都市・住宅の施策などがあげられています。

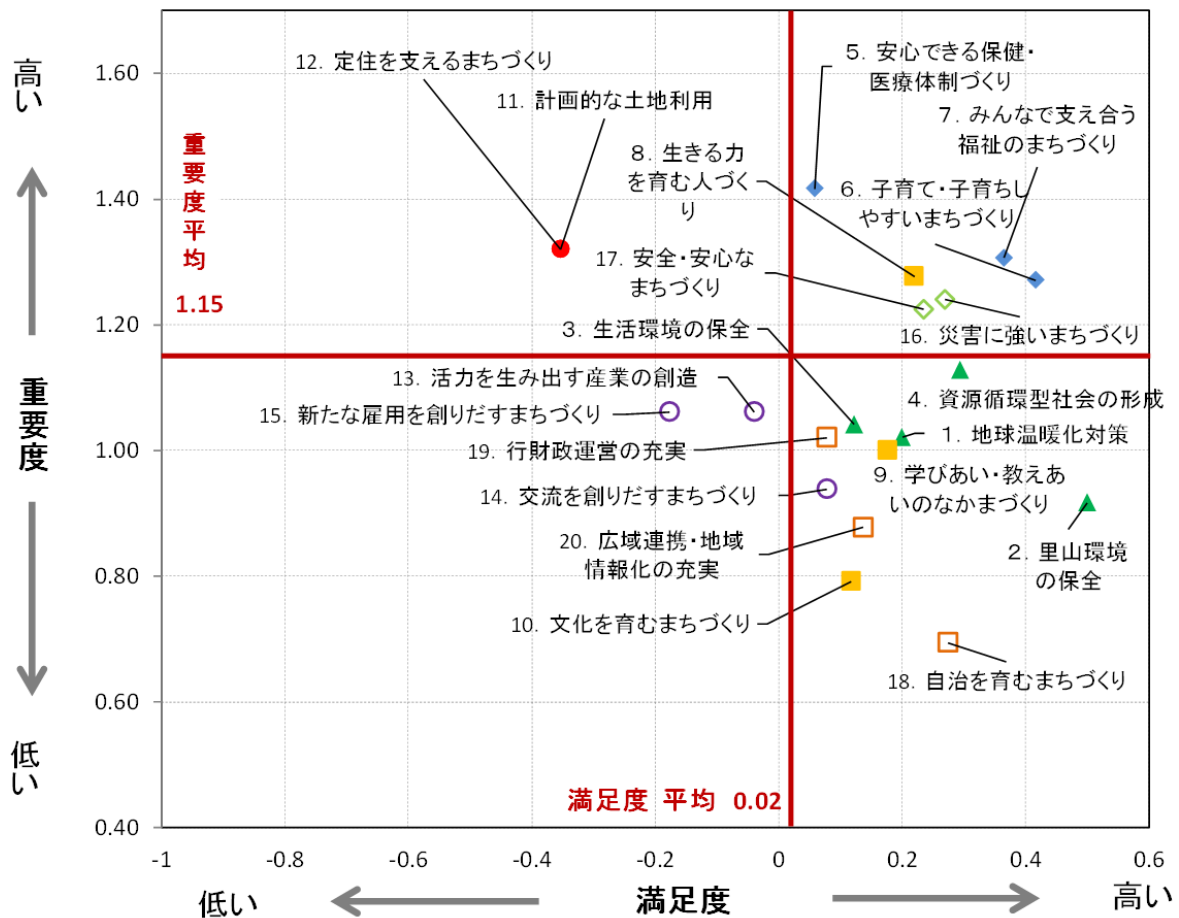
【境地区】



境地区では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“満足度”が低い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「計画的な土地利用」、「行財政運営の充実」、「生きる力を育むまちづくり」のほか、健康・福祉の分野から2つの施策があげられています。

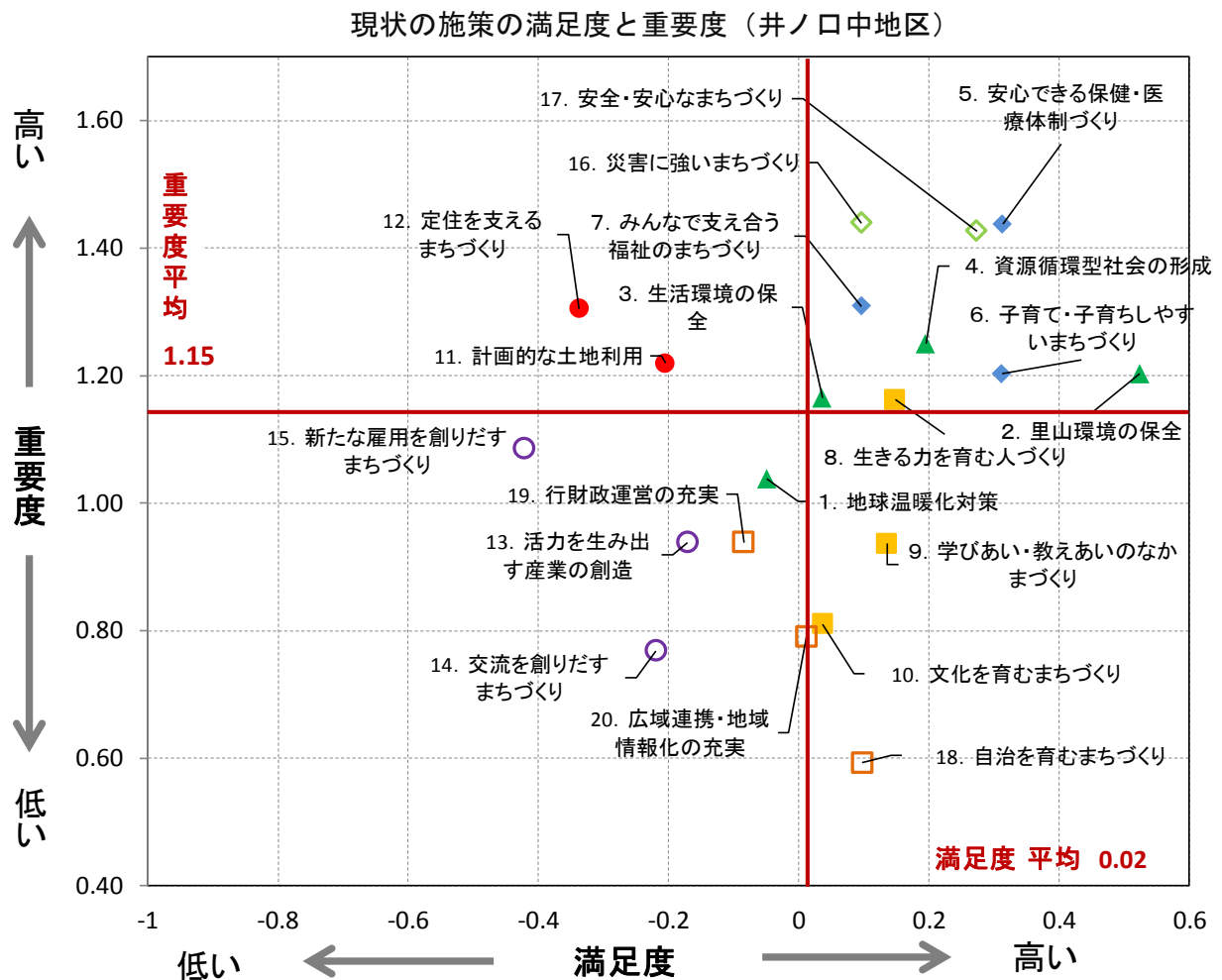
【井ノ口上地区】

現状の施策の満足度と重要度（井ノ口上地区）



井ノ口上地区では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“満足度”が高い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」と「計画的な土地利用」の都市・住宅の施策があげられています。

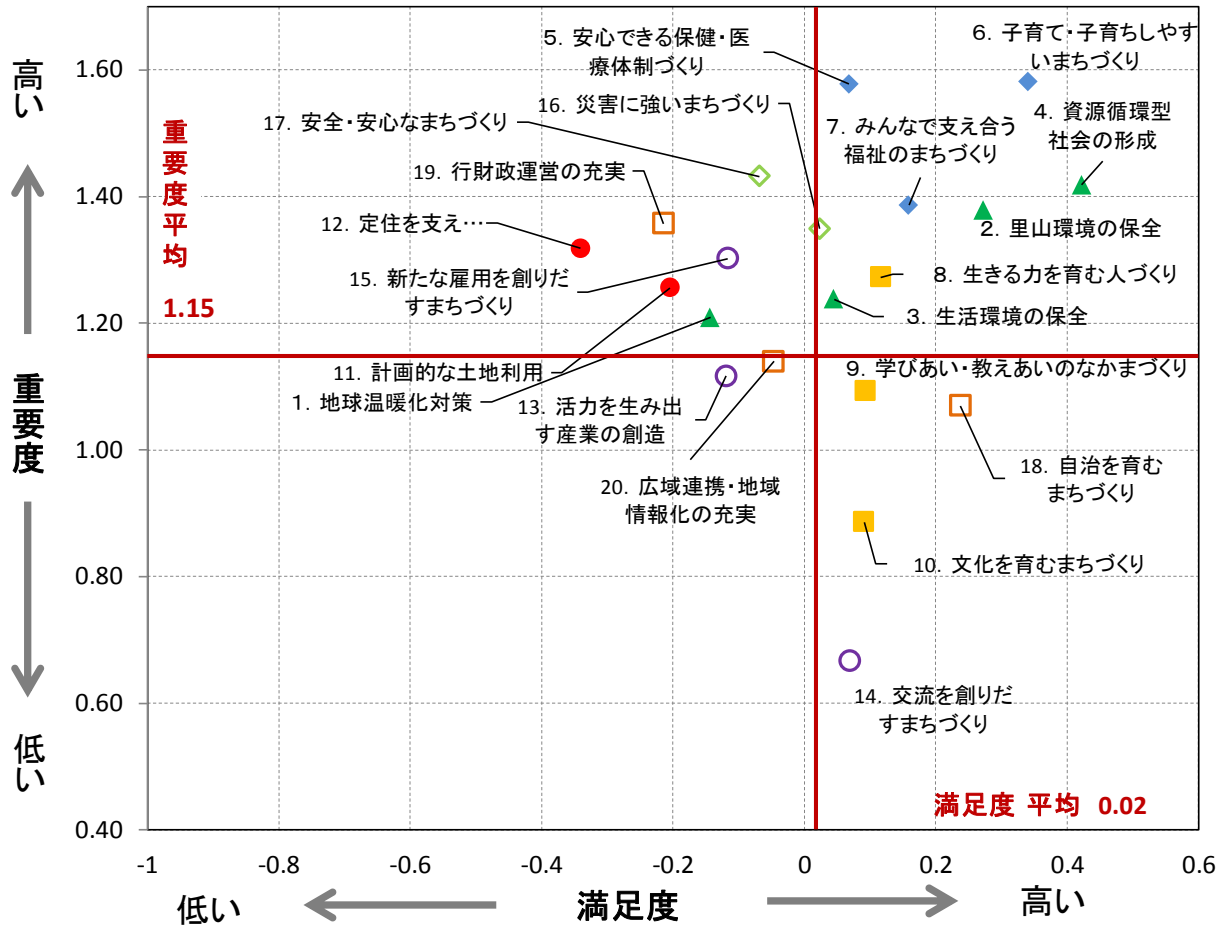
【井ノ口中地区】



井ノ口中地区では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”が低い施策が多くなっています。“重要度”が高く“満足度”が低い施策では「定住を支えるまちづくり」と「計画的な土地利用」の都市・住宅の施策があげられています。

【井ノ口下地区】

現状の施策の満足度と重要度（井ノ口下地区）



井ノ口下地区では、全町の“重要度”、“満足度”の分布の傾向に比べて“重要度”が高く“満足度”が低い施策が多くなっています。「定住を支えるまちづくり」と「計画的な土地利用」の都市・住宅の施策のほか、「行財政運営の充実」、「地球温暖化対策」などあげられています。

まちづくり町民アンケート 町の施策の満足度と重要度 (CS グラフ：重点改善領域) 年代別・地区別一覧

		自然・環境				健康・福祉			教育・学習			都市・住宅		観光・産業		防災・防犯		自治・連携			
		1 地球温暖化対策	2 里山環境の保全	3 生活環境の保全	4 資源循環型社会の形成	5 安心できる保健・医療体制づくり	6 子育て・子育てしやすいまちづくり	7 みんなで支え合う福祉のまちづくり	8 生きる力を育む人づくり	9 学びあい・教えあいのなかまづくり	10 文化を育むまちづくり	11 計画的な土地利用	12 定住を支えるまちづくり	13 活力を生み出す産業の創出	14 交流を創りだすまちづくり	15 新たな雇用を創りだすまちづくり	16 災害に強いまちづくり	17 安全・安心なまちづくり	18 自治を育むまちづくり	19 行政運営の充実	20 広域連携・地域情報化の充実
全町											○	○									
年代別	20歳代以下											○									
	30歳代					○						○									
	40歳代										○	○			○				○		
	50歳代	○		○							○	○	○		○				○		
	60歳代			○							○	○	○			○			○		
	70歳代以上	○									○	○								○	
地区別	中村上地区						○				○	○				○					
	中村下地区										○	○			○						
	境地区	○		○		○		○	○		○					○			○		
	井ノ口上地区										○	○									
	井ノ口中地区										○	○									
	井ノ口下地区	○									○	○			○		○		○		
		○ 今回(R1)アンケート																			
		■ 前回(H27)アンケート																			